



アナンシと知恵

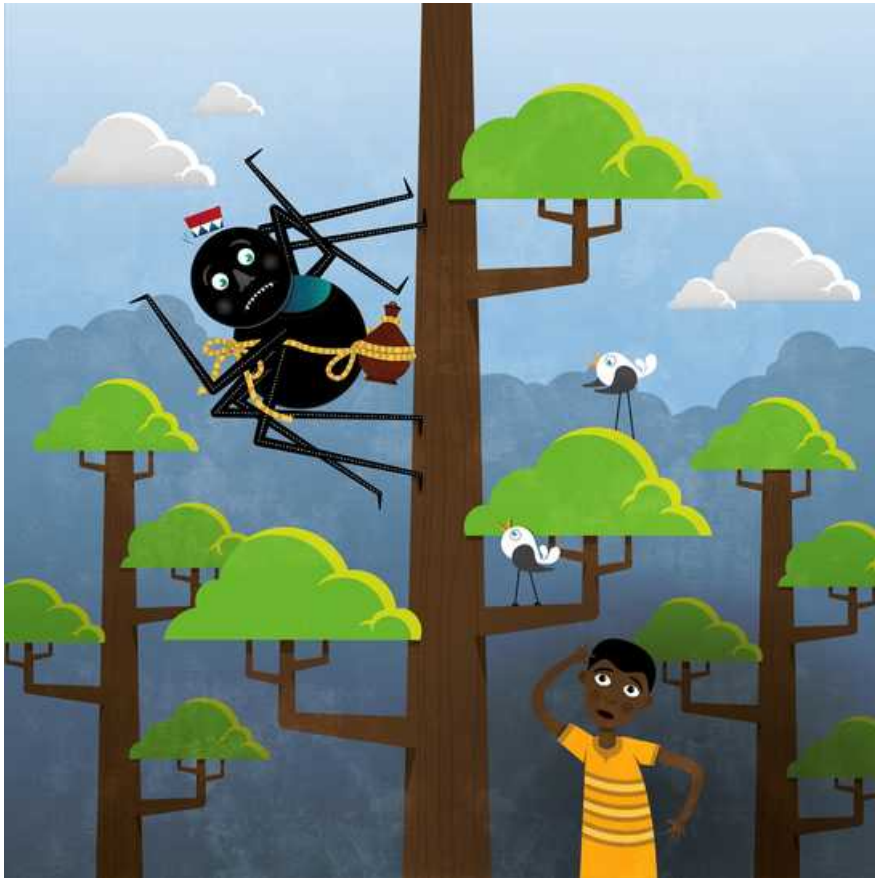
- ✎ Ghanaian folktale
- 👤 Wiehan de Jager
- 🗨️ Kohei Tsuji
- 💬 Japanese
- 📊 Level 3



昔々、人々は何も知らなかった。彼らは農作物の植え方も、服の縫い方も鉄の道具も作る方法も知らなかった。空に住んでた神ニヤメが世界のすべての知恵を持っていた。彼はそれを安全に粘土の壺にしまっていた。



ある日、ニヤメは壺の知恵をアナンシにあげることにした。毎回アナンシは壺を覗き込み、何か新しいものを学んだ。彼はそれを楽しんだ。



強欲なアナンシは思った、高い木の上に壺を置いておけば安全だ。そして独り占めすることができる！彼は壺を長い紐でお腹に巻いた。木を登り始めた。しかしずっと膝の間で壺が跳ねて木を登ることは難しかった。



ずっとアナンシの若い息子は木の下で木を見ながら立っていた。そして彼はお腹の代わりに背中に壺を結んだ方が簡単ではないか？と言った。アナンシは背中に結び登った。それはとても簡単なことだった。



すぐに木の頂上に着いた。しかしそこで彼は止まり考えた、僕はすべての知恵を持っていると思っていたが、自分の息子の方が賢いじゃないか！アナンシはこのことについて怒って、壺を木からほうり投げた。



壺は壊れて地面にバラバラに割れた。その知恵はみんなに自由に共有された。そうやって人々は農業や服の作り方や、鉄製の道具の作り方、そして他の知恵も学ぶことができた。



Storybooks Canada

storybookscanada.ca

アナンシと知恵

Written by: Ghanaian folktale

Illustrated by: Wiehan de Jager

Translated by: Kohei Tsuji

This story originates from the African Storybook (africanstorybook.org) and is brought to you by Storybooks Canada in an effort to provide children's stories in Canada's many languages.



This work is licensed under a Creative Commons
[Attribution 3.0 International License](http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/).